退職合意書

○○株式会社（以下「甲」という。）及び✕✕（以下「乙」という。）は、本日、甲乙間の雇用契約に関し、次の通り合意した。

第１条

甲と乙は、乙が甲を令和○年○月○日付で自己都合により退職することを合意した。

2　退職日以降、甲の施設内に乙の私物がある場合、乙は甲に残置した一切の私物について、その所有権を放棄し、甲が任意の方法により処分することについて一切の異議を述べない。なお、乙が甲に残した私物の処分にかかる費用は、全額甲の負担とする。

第２条

甲は、乙に対して、退職金規程に基づく退職金として金○○円、また別途退職慰労金として、金○○円を支払うものとし、これを令和○年○月○日限り、法定控除を実施の上、乙の指定する銀行口座に振り込む方法により支払う。振込手数料は甲の負担とする。

2　甲は乙に対して、令和〇年●月●日から退職日までの就労義務を免除し、令和〇年●月分給料として、金○○円を、前項と同じ日付及び方法で支払う。

第３条

甲乙は、本件合意に関し、雇用保険の離職証明書の離職事由は、○○○○で処理することを確認した。

第４条

乙は、在籍中に従事した業務において知り得た、甲が管理している技術上・営業上の秘密情報について、退職後においても、これを他に開示もしくは漏洩しないことを誓約する。

第５条

乙は、前条にかかる資料並びに甲からの貸与物（乙が甲から業務上借り受けた制服、社員証、名刺、健康保険証（家族分を含む）、その他甲の乙に対する貸与物一切）は、すべて退職日までに甲に返却し、退職日以降一切所持しないことを誓約する。

第６条

乙は，本件合意書の存在及びその内容の一切を厳格に秘密として保持し，その理由の如何を問わず，一切開示もしくは漏洩しない。

第７条

甲と乙は本件合意書に定める他、何らの債権債務が存在しないことを相互に確認する。

以上、本合意成立の証として、本契約書2通または本書の電磁的記録を作成し、甲乙記名押印若しくは署名又は電子署名のうえ、各自保管する。

令和〇年×月×日

甲　住所

会社名　　代表者名　　　　　　　　　　　　　　　印

乙　住所

氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印